



**倉俣史朗のデザイン**  
**—記憶のなかの小宇宙**

と き／6月11日(火)～8月18日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都市立近代美術館(月曜日休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

倉俣史朗(1934-1991)は、銀座のランドマークとなる商業施設「三愛ドリームセンター」の店内設計で注目を集め、1965年にはクラマタデザイン事務所を設立して独立。その後高度経済成長とともに変化し続ける都市を舞台に、同時代の美術家たちとも協力して、新たな空間を提示していく。



《ランプ(オバQ) [小]》  
 1972年 個人蔵  
 撮影：消忠之  
 ©Kuramata Design Office

一方で、商品化を前提とせず、自主的に制作した家具を発表。イメージに合う素材を開発し、画一的な利便性から解放されたデザインは、日常に遊び心と本質的な問いを持ち込んだ。1980年代にはイタリアのデザイン運動「メンフィス」に参加し、活躍の場を世界に広げた。倉俣が「言葉で語れない部分を形で言おう」とした家具たちは、今なお能弁なまでに魅力的である。

本展では、倉俣自身の言葉を辿りながら、創作の源泉ともいえるイメージスケッチや夢日記などの資料とともに、彼のデザインが語りかけるメッセージに耳を傾けたい。東京・富山を巡回した本展は、京都では25年ぶりの回顧展として幕を閉じる。



《硝子の椅子》1976年  
 京都国立近代美術館蔵  
 撮影：消忠之  
 ©Kuramata Design Office



《ミス・ブランチ》1988年  
 石橋財団アーティゾン美術館蔵  
 撮影：消忠之  
 ©Kuramata Design Office

**印刷／版画／グラフィック**  
**デザインの断層1957-1979**

と き／5月30日(木)～8月25日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都市立近代美術館4Fコレクションルーム(月曜日休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

マス・コミュニケーション時代が到来した戦後の日本では、印刷技術の飛躍的な発展とともに美術と大衆文化の結びつきが一層強まり、とりわけ版画とグラフィックデザインの関係性が議論の対象となった。本展では、1957年から1979年まで全11回にわたって開催され、当時の気鋭の版画家やデザイナーの活躍の場となった「東京国際版画ビエンナーレ展」に焦点をあて、国立美術館のコレクションから同展の出品作家を中心に紹介している。

同時代の多様な視覚表現のなかに交錯した版画とグラフィックデザインの様相を通して、印刷技術がもたらした可能性とその今日的意義を改めて検証する。



木村秀樹《鉛筆 2-3》1974年  
 シルクスクリーン・プリント、方眼紙  
 京都国立近代美術館蔵



横尾忠則  
 「第6回東京国際版画ビエンナーレ展」  
 ポスター 1968年  
 国立工芸館蔵

会場		日曜	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23日	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30日	7/1月		
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	三國商販 —勲王漢 学者と京都	祇園祭—山鉦巡行の歴史と文化																																
	3F	天平の都 恭仁京(くにきょう)—最新の発掘調査成果から																																	
	4F	松尾大社展 みやこの西の守護神																																	
	5F	「描くといふこと」 —回顧展	湯浅三郎	心象書展 第57回														京都佳趣会 第14回 書展				生誕100年 古谷蒼韻展				第77回京都丹平写真展									
	6F	浪曲																																	
別館	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	林康夫・坪井明日香展 —前衛表現の気概—														休館日																				

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	
		曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	倉俣史朗のデザインー記憶のなかの小宇宙																												→8/18				
	4F	印刷／版画／グラフィックデザインの断層 (2024年度 第2回コレクション展)																												→8/25				
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	特集展示 豊臣秀次公430回忌 特集展示 豊臣秀次と瑞泉寺																												→8/4					
	修理完成記念 特別公開 重要文化財 經糸威胴丸 (はなだいとおどしどうまる)																												→8/4					
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	本館	パリ ポンビドゥーセンター キュビズム展ー美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ																												→7/7				
		金曜ロードショーとジブリ展																																
	第110回 記念 光風会展	第20回 日韓現代美術同行展 第9回 同じ刻を生きる作家展		第8回 新日春展				第26回 京都墨彩画壇展				第72回 光陽展 京都準本展																						
	東山 キューブ	京都市美術館開館90周年記念展 「村上隆 もののけ 京都」																												→9/1				
	別館 1F	第3回 龍子会 書展	第38回 関西扇面芸術展				第15回 K2展				第2回 新・愚人展				第98回 国展工芸京都展																			
別館 2F					公募 第15回 京都現代水墨展				第49回 2024 JPS展 関西展				第69回 青塔社展																					
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	77回 農鳥社 展 (日本画)	第49回 ベクトル彫刻展				2024年度 第73回 象同人展				日本画博 (BAKU) 展 (日本画)				二科京滋支部展 (洋画)																			
	2F	KIRARI 翔瓜会 第1回 日本画展				金曜会 日本画展				第11回 八猫会の 仲間たち 日本画展																								
	3F	青嵐展 (書)				第49回 彩々会 日本画展				刻慈苑展 (彫刻)																								
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展 五彩を感じて 印象の墨の世界 同時開催 第5回京都工芸美術作家展 (会場: 京都府立堂本印象美術館新館)																												→9/8					
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311																																		
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	- 光彩讚美 - 並木秀俊展 陶 神山 易久展				- 白彩降臨 - 大沼映夫展				菟寿記念 六代 川端近左 漆芸展				襲名十周年記念 十五代 酒井田 柿右衛門展				木霊 宮本貞治展 - 木に魅せられ50年 -																
	美術工芸 サロン	和田純子 ガラス展 - 秘かな情熱 -				酒井三和子 ガラス工芸展				奥谷隆央 陶展				大概洋介 ガラス展 「淡水色」				井上路久 陶展 ~ 清涼 ~																
	グランド ホール																																	
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	自然美への賛歌・ 日本百名山 小暮真望 版画展				鈴木禎三展 碗の中の小宇宙				天 紫生 絵画展				- 日本画 - G6展				掛軸紅札市																→7/2
	アート サロン	村山耕二 ガラス作品展				村社由起 油彩画展				神山結子 テキスタイル展				萌の会				平井宏明 ガラス展																→7/2
	ミュージアム																																	
中信美術館 上京区下立売池小路東入 417-2323																																		
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	春季特別展 並河七宝 - 百年の時を越えて - (月・木休館)																												→7/21					
泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411	改修工事のため、2025年春まで休館いたします。																																	
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	
		曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町 357-8 754-8556	江本創展 - 竜の眷族2024 -																																	
アートギャラリー 博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	関西美術院の画家たち展 XI (月曜休廊)												女流作家作品展 (月曜休廊)																→7/7					
アートギャラリー 騰休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805	常設展 (貸ギャラリー受付中)																																	
アートスペース 柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353	まきみち イラスト展 - 元気出して いこう! -	シュールな生き物展 京都市立芸術大学 学生7人展				第3回 さんぽぼぼ展 杉森康彦・志野奈都子・石崎寛二 坂口貴世子・坂口芳・前正美・ほづみ真理				太田 りかこ 染色 作品展																→7/7								
アートスポット 櫻奏 東山区八坂通大和大路東入南入 090-3945-7492	貸ギャラリー受付中																																	
Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788	川瀬巴水展 開館日: 毎週火曜・金曜 (祝日は休館・完全予約制: 午前・午後各一組4名まで)																												→7/5					
綾小路ギャラリー 武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	初夏の手作り 展				Room Ycina				宙展																									
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																	

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

## 野見山 暁治 没後1年追悼展 NOMIYAMA Gyoji Memorial Exhibition

と き／6月18日(火)～6月23日(日) 12:00～7:00PM  
ところ／ギャラリーヒルゲート1F・2F (最終日～5:00PM)  
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3707

賛助出品：入江 観・上葛明広・木村克朗・山口千里

2021年当画廊では5度目となる個展を開催させていただいた時、野見山先生は100歳、とてもお元気でした。1年目の御命日を迎えて、小品による追悼展を企画致しました。野見山先生の生前から身近に寄り添ってこられた4人の先生方が賛助出品して下さいます。油彩、ドローイング、銅版…。表情豊かな作品に触れると、いつも率直で鋭いのに温かい先生のお人柄が偲ばれます。どうぞ御高覧下さいませ。

(ギャラリーヒルゲート)

野見山 暁治 (NOMIYAMA Gyoji)

1920年福岡県生まれ。38年上京し、東京美術学校油画科予科に入学。本科2年生の頃から“池袋モンパルナス”と呼ばれたアトリエに暮らし、フォーヴィズムの絵画に傾倒する。当時の池袋モンパルナスには巖光・麻生三郎・赤松俊子(後の丸木俊)等、多くの画家が住んでいた。43年東京美術学校油画科卒業。応召の後病を患い、45年福岡の療養所で終戦を迎える。48年病気が治り、再び上京。自由美術家協会に出品、受賞し会員となる。この頃の自由美術には若く个性的な作家が集い、鶴岡政男、麻生三郎、難波田龍起、寺田政明等、池袋モンパルナスの住人だった先輩たちや山口薫等が芸術論を闘わせていた。50年最初の個展開催。この頃、郷里の福岡にしばしば戻り、筑豊の炭鉱風景を描く。52年渡仏。椎名其二、金山康喜、小川国夫らと親交を深める。58年安井賞受賞。64年帰国。無所属となる。68年東京藝術大学助教授(72年教授)に就任(81年辞職)。78年『四百字のデッサン』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。92年芸術選奨文部大臣賞受賞、94年福岡県文化賞受賞、96年毎日芸術賞受賞。2000年文化功労者顕彰。全国の戦没画学生の遺作を窪島誠一郎氏とともに収集、それらを展示保存する「無言館」(長野県上田市97年設立)にも尽力した。2014年文化勲章受章。主な回顧展は83年の北九州市美術館、96年練馬区立美術館、2003年東京国立近代美術館、2011年石橋美術館・ブリヂストン美術館、2023年久留米市美術館等。他、個展多数。2023年6月22日死去。享年102歳。



「独りぼっちの象」  
1975年 油彩 SM



「約束の日」パステル他  
紙 50.5×34cm

《ヒルゲート夜話市民講座》「野見山暁治先生の思い出」

講師：山口千里(画家・野見山暁治先生秘書)

6月18日(火) 18:00～19:30

定員35名(要予約) ギャラリー1F 参加費1,000円(学生500円)

偶然の出会いから秘書として野見山先生を支えつづけてこられた山口千里さん。同じ画家として、そして養女として、没後の先生の遺作の寄贈等、人知れず、多くの仕事を成し遂げられました。貴重な思い出を聞かせていただけることと思います。

## 萌の会 (めぐみのかい) (日本画グループ展)

と き／6月19日(水)～6月25日(火) 10:00AM～7:00PM  
ところ／大丸京都店6階アートサロン、エスパス京都  
京都市中京区四条高倉 大丸百貨店6F ☎075-211-8111

五感を研ぎ澄ませ捉えた事象を己に内包し、自身の想いや考えを突き詰め膨らませて昇華させ、そして具現化する。それが絵を描くことだと私は思っています。更にそれが時流に左右されること無く絶対的価値観を持ち得ることが望ましいとも。

この度それぞれの感性を磨き自己の思考を自身で追求し練り上げる姿勢の重要性を自覚し、画面に対峙する描き手達が集まりました。

この10人は京都芸術大学(旧京都造形芸術大学)在学中から積極的に活動し、諸展覧会で入選さらには受賞したりしつつ個展・グループ展などを行い研鑽に励んでいます。果ての無い絵の世界に萌いずる若い作家たちが各々独自の世界を追い求めている姿を、是非とも観て感じて頂ければ幸いです。

山田 伸

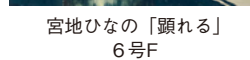
出展作家 山田 伸・後藤吉晃・顧 洛水・吉原拓弥・前田和子・  
山本真澄・高田久恵・王 夢・姚 蘇芸・高田咲恵・  
宮地ひなの(順不同/敬称略)

山田 伸 略歴

1960年 宮城県に生まれる  
1988年 東京藝術大学大学院美術研究科日本画専攻修士課程修了  
1991年 奈良・薬師寺中門仁王像彩色事業に参加  
1994年 安土城天守閣障壁画再現事業に参加  
2002年 京都日本画家協会新鋭選抜展《京都文化博物館賞》  
受賞・同館買い上げ  
2007年 第13回足立美術館賞受賞・同館買い上げ  
2017年 伊勢神宮式年遷宮記念神宮美術館特別展出品  
2021年 京都府立堂本印象美術館にて個展  
\*再興院展 日本美術院賞1回、奨励賞9回  
春の院展 春季展賞3回、奨励賞4回  
現在 日本美術院同人  
京都芸術大学美術工芸学科日本画コース教授  
京都日本画家協会会員



山田 伸「黎明」  
4号F



宮地ひなの「顕れる」  
6号F



山本真澄「ひととき」  
20号P



高田久恵「迎え」  
6号F



# eggo 0090 NIBB展

「お前を抱きしめて眠りたいけど夢にお前が出てくるのは許せない」

と き／6月20日(木)～29日(土) 10：00AM～6：00PM

ところ／大雅堂1階展示室(会期中無休)

京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

## 作家コメント

日記『お前を抱きしめて眠りたいけど夢にお前が出てくるのは許せない』より抜粋

2022/8/26 寝るのは得意 夢を見るのが嫌いだけど  
 寝るときに、夢を見るのがおそろしくて  
 泣いてしまいそうな俺を、そんな俺を、  
 そんな俺の髪を、なでてくれたときの  
 かつてのうれしさって 一生何にも負けない  
 だからもう誰も 俺の髪なでなくていいです  
 俺の過去に 負けるだけです

## ○プロフィール

静岡県、東京都出身。

2021年 9月 「げきりん♡過酷ユーション」新宿眼科画廊(新宿)

12月 「雨、ときどき世界滅亡」haco(谷中)

2022年 2月 「B= コスミ キャラクター・アナムネーシス」  
新宿眼科画廊(新宿)

9月 「ぼくたちを痛めつけないおんがく」

DESIGN FESTA GALLERY(原宿)

11月 「相思相愛じゃ物足んねーよ??」新宿眼科画廊(新宿)

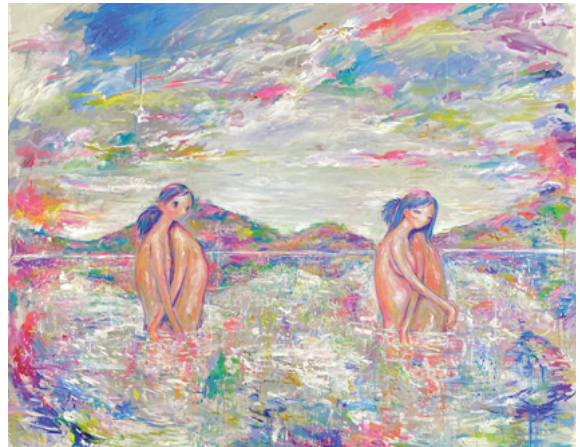
2023年 7月 「空間彩添」aL Base(代々木)

9月 「ウェディング・ベル」haco(谷中)

「過程派」美術紫水(銀座)

10月 「ART KYOTO 2023」(京都・二条城)

2024年 3～4月 「空間彩添」aL Base(代々木)



「悪／Unwholesome」1303×1620mm  
キャンバスに油絵具

# 「70年代再考—版画・写真表現の波紋」

と き／6月25日(火)～7月20日(土) 12：00～6：00PM

ところ／ギャラリー16(月曜・休) ☎075-751-9238

京都市東山区三条通白川橋上ル石泉院町394 3F

日本美術の70年代とは一体何だったのか？

1960年代にアメリカでミニマルアートが本格的に始まり、抽象を極限まで突き詰める動向は日本の美術界にも影響を及ぼしました。日本美術史では70年代に入ると「もの派」が台頭しました。未加工の物質が主役として登場し、その影響を受けたストイックな作品が次々と現れます。そして80年代にはポストもの派、ニューペインティングへと移行していきます。しかし、そのはざままで版画や写真表現が、次につながる萌芽を生じさせたのではないかと。それを今回、版画・写真メディアに焦点を合わせて見つめ直します。

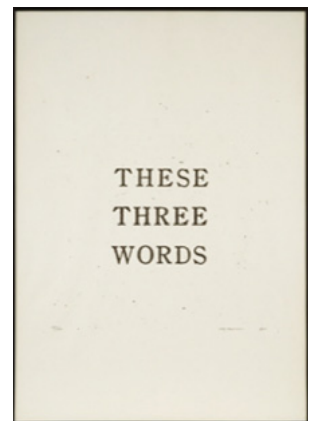
本企画は、坂上しのぶ氏による『70年代再考』(2024年6月発行予定)が契機となり立ち上がりました。60年代後半から黄金期を迎えた版画表現が本当は「消えゆく媒介者」ではなかったのか…。それを時代の動向に沿って丁寧に読み解き、検証された論書です。

展覧会では、『70年代再考』で取り上げられた作品を含め、写真と写真製版による版画表現を中心に、次代へと波紋を投げかけたと思われる作品をセレクトして展示します。

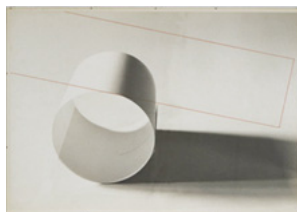
また、「70年代という時代」・「現代美術における写真」というテーマで2夜連続のトークも開催いたします(28日・29日 18：00～20：00)。

出版、展覧会そしてトークの三本柱を介し、70年代の日本美術において見えなくなってしまった史実を再び掘り起こそうとする試みです。

出品作家：高松次郎・木下佳通代・彦坂尚嘉・木村秀樹・辰野登恵子・木村 浩・石原友明



高松次郎「These Three Words」  
シルクスクリーン 1970年



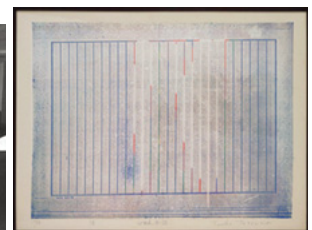
木下佳通代「77-P」  
写真・水性インク  
1977年



木村秀樹「Small Blinder 3」  
既成の方眼紙にシルクスクリーン  
1978年



木村 浩  
「The Window Dressing B-1」  
写真 1980年



辰野登恵子「work K-25」  
所蔵 沢居曜子  
シルクスクリーン 1976年

		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
会場		日曜	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
企	絵草子	浮世絵・木版画。新版画常設																															
企	延寿堂ギャラリーソフォラ	浅井睦子 (陶芸)										小路口力恵×吉田桂子 展 (ガラス×織)										→7/9											
企	御池画廊	企画展示中																															
企	ビニールテープ(旧後素堂)	日本画常設展 (日祝休廊)																															
企	画廊たづ	日本画常設展 (日祝休廊)																															
貸	ざおんギャラリー八坂	ピース&バック TanTan展 野村たえ	手しごと展 (牛革を使った革製品) 馬場友恵					京のきもの嵯峨宗 (着物展示販売) 住田宗明					着物リメイク展 マイkimono 永井舞					手づくり工房 クラフト作品展 浪漫堂 谷内恵美															
貸	喜聞堂アートスペース余花庵	喜聞堂 屏風絵・古美術常設展																															
貸	ギャラリーM	花菖蒲と風車を描く展 (松本祐佳)																															
貸	ギャラリー花友じゅらくだい	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 (貸画廊受付中)																															
貸	ギャラリー祇園小舎	第13回 泥展										ようこそ不思議の部屋へ ART写真二人展																					
貸	ギャラリー吉象堂	浅井敬二 個展	第30回 銅駝美工 卒業生有志展																														
貸	ギャラリーCreate洛	田中静 個展 (洋画)	常設展					高田学展 (日本画)					飯村君江展 (洋画)					休廊															
貸	ギャラリー恵風	1F 下千映子 展 (平面)	宇野小百合展 (平面)					渡辺信明展 (平面) (月曜休廊)					奥野久美子展 (平面)																				
貸		2F 清水啓史 展 (陶芸)	奥田有規・宮菜々子 二人展 (平面)					高木智子展 (平面) (月曜休廊)					澤村はるな展 (平面)																				
貸	ギャラリー胡々湾	貸ギャラリー受付中																															
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
貸	ギャラリー佐野	貸ギャラリー受付中																															
企	ギャラリー三条祇園	藤田修銅版画展 (月・火休廊) -ミュージアム・コレクションを中心に-																															
貸	ギャラリー翔																					京都MORE展 (絵画)											
貸	ギャラリー16	櫻井類 個展 (月曜休廊) 「まばゆいシャウト、それも在り方」(絵画)					袖岡千佳展 (月曜休廊) -つちのひかり あめのいき- (絵画)					70年代再考-版画-写真表現の波紋 (出品作家) 高松次郎・木下佳通代・彦坂尚嘉・木村秀樹・辰野俊恵子・木村浩・石原友明 (トークイベント) 28日・29日 18:00~20:00					→7/20																
貸	ギャラリーSpace妙																					妙なる箱展10 (木曜休廊)					→7/7						
企	ギャラリー創	日本画・洋画・古書画常設展																															
貸	ギャラリーTAJIRO	貸画廊受付中																															
企	ギャラリー鉄齋堂	常設展																															
貸	ギャラリー富小路	夏季休廊																															
企	ギャラリーなかむら	中馬泰文 展 (版画)	美飾會 (陶芸・立体作品) (月曜休廊)																														

【他所で見た展覧会】

- 「ときめきの髪飾りーおしゃれアイテムの技と美」展：4月27日(土)～8月4日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「裏千家今日庵の茶室・寒雲亭ものがたり」展：4月18日(木)～7月7日(日) 茶道資料館 (京都市上京区堀川通寺ノ内町上ル ☎075-431-6174)
- 「君があまりにも綺麗すぎて」美人画展：4月19日(金)～7月1日(月) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「中国やきもの7000年の旅」展：6月1日(土)～9月1日(日) アサヒグループ大山崎山荘美術館 (京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
- 「没後30年 木下佳通代」展：5月25日(土)～8月18日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「醍醐寺国宝展」展：6月15日(土)～8月25日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「キース・ヘリング展」：4月27日(土)～6月23日(日) 兵庫県立美術館ギャラリー棟3Fギャラリー (神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1 ☎078-262-0905)
- 「梅津庸一 クリスタルパレス」展：6月4日(火)～10月6日(日) 国立国際美術館 (大阪市北区中之島4-2-55 ☎06-6447-4680)
- 「具体美術協会結成70年、具体美術協会／芦屋」展：4月13日(土)～6月9日(日) 芦屋市立美術館 (芦屋市伊勢町12-25 ☎0797-38-5432)
- 「没後60年・辻愛造」展：5月2日(木)～7月15日(日) 西宮市大谷美術館 (兵庫県西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-1699)
- 「菱田春草と画壇の挑戦者たちー大観、観山、その後の日本画へ」展：5月25日(土)～7月7日(日) 美術館「えき」KYOTO (京都市下京区JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111)

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町G3 461-0427	白崎信子ガラス作品常設展																																
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F 大規模子 個展 (前開会準会員)	西山彰展 (油彩、二紀会準会員)					田中直子 展 水の森・芦生 (新制作協会会員) (油彩・銅版)					野見山暁治 追悼展 (油彩・水彩・ドローイング・ 銅版の小品を展示) 賛助出品：入江親 上島広明 木村克朗 山口千里					第31回 心に響く小品展 一居孝明・北村美佳・日下高直起・栗本夏野・坂爪生 角ひ子・中林忠良・西久松友花・平岡晴弘 他 100人余の現役作家の油彩・水彩・日本画・版画・ 写真・彫刻・工芸の小品 (月曜休廊)					→7/7											
貸企	奥庭 空欄	葛本 康彰 個展 流れの途中、その名残り (月曜休廊)																																
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)																																
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F ZENGO HUIRU (陶芸)	随行奏子展 (立体) (月曜休)															盆景展 (月曜休)																
貸企	4F	木村歩展 (陶芸) (月曜休)																																
貸企	5F	安藤由佳子展 (インスタレーション)																																
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	『廻展』新屋小百合 島本恵未					貸ギャラリー受付中																											
企	貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	休廊					装展 (月曜休廊) 風間紀子：オリジナルウェア／百瀬雅子：草木染ニット／kagari：尾州サマーウールの洋服																										
企	貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																															
企	貸	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (月曜・水曜休廊)																															
企	貸	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	黒須信雄新作展 (1：00～6：00PM、月曜休) 「母止津和太良世 (もとつわたらせ)」																															
企	貸	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	初夏の器アラカルト (月曜休廊)										レトロガラスの器展 (月曜休廊)																					
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
企	京都市立芸術大学芸術資料館 下京区塩小路高倉東入 585-2008	京都市立芸術大学移転記念事業 Floating and Flowing (月曜休廊) -新しい生態系を育む「対話」のために										京都芸大〈はじめて物語〉第2期 「日本最初京都府画学校」-京都御苑からの出発-																				→8/12		
企	京都芸大ギャラリーアクア 下京区塩小路高倉東入 253-1509	林智子個展 「そして世界は泥である」																																
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	春らんまん 京の学校に咲く花々の絵 (水曜休廊)															京都市における新教育の軌跡 (水曜休廊)															→9/16		
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	清永安雄 写真展																															
貸企	2F [花]	冨木一馬 写真展「indifference」					井関洋恵 写真展「ふるさと徳地」					後藤芳貴写真展										→7/7												
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品の常設展示 (木曜休廊)																															
貸企	2F	京焼の逸品展 (仮) (木曜休廊)																																
貸企	京都万華鏡ミュージアムアトスベース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	ゆふ工房 スタンド グラス 教室展	開催期間・開催時間は変更になる可能性があります。 最新の情報は当館HPにてご確認ください。																															
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	高橋昭子 CLAY WORKS	宮田啓子展 (洋画)					三様展					下村順子展 (陶)					休廊										→7/11						
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	← eggo0089 赤松晃年展	村上裕二・村上隆二人展 (会期中無休)										eggo0090 NIBB展 (会期中無休)																					
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展／美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																
企	梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510	日本画・洋画常設展																																
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月曜休廊)																																

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) ではなく、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>